

入園・進級から1箇月が経過した子供たち そして10連休と子供

園長 石川 久子

入園・進級して1箇月が過ぎました。とはいうものの登園した日は15日間のみであり、新たな環境に慣れるにはもう少し時間がかかるようです。そして、このタイミングでのゴールデンウィーク。しかも、今年は10連休。明けたときが子供たちにとって厳しくなることが予想されます。ご家族で行楽等、出かけることを計画している場合は、子供のペースに合わせてゆとりをもってください。また、連休中、めいっぱい楽しもうと欲張らずに、休養の日も作ってください。大切なことは、連休中も生活リズムを大きく崩さないことを心がけて過ごしていただくことです。それが連休明けのスムーズな登園につながります。

長い休みですので、交通事故や不審者等にも気を付けてください。

現在の子供たちの姿からお願いしたいことは、

3歳児は、4月中は、登園して2時間半ばかりの幼稚園での生活ですが、初めての集団生活で3歳児なりに神経を使っている部分も伺えます。家に帰ると、今までは昼寝をしなかった子供が昼寝をしたり、急に甘えん坊になったり、わがままになったり、幼稚園では我慢していたことが爆発しても、「よく幼稚園に行ってきたね。」と、親から離れて幼稚園で過ごしてきた子供を温かく迎えてやってください。

4歳児は、これまでの1階の生活から階上生活へと環境が大きく変わりました。些細なことですが、これまでのテラスからの出入りが廊下からに変わったことで、朝の一連の支度の導線がほぼ反対になり、その流れを覚えてスムーズに始末ができることを目標に頑張っているところです。家庭でも自分でやろうとする姿をうんと誉めてやってください。

5歳児は、昨年度の年長児から引き継いだふたつのことを頑張っている行っています。一つは年少児に優しく接して面倒をみることです。年少児が登園してくるのを待って、一緒に手をつないで所持品の始末や朝の一連の支度を済ませることを根気よく教えています。食事の面倒も見る予定です。もう一つはみんなのために当番の仕事（砂場道具の片付け・ウサギの世話・部屋掃除・給食）をすることです。年長児に教えてもらったこと思い出しながら、友達と一緒にやっています。ぜひ、『年長さんになったら、気持ちのもちようが違うなあ』ということ言葉を言葉にして話してやってください。

周りの大人が、小さな変化に気付く目をもつこと、子供の頑張りを認めてやることを実践して、子供たちの自信を大きくしてやりましょう